

株式会社ミツバ
2023年3月期第2四半期決算補足資料
(証券コード:7280)

2022年11月9日(水)

2023年3月期 第2四半期決算(サマリー)

(単位:億円)

【損益計算書】

売上高 1,530億円 (前年同期比 11.8%)
営業利益 4億円 (前年同期比 ▲87.8%)

- 半導体供給不足や上海ロックダウンに伴う自動車メーカーの大幅減産影響を受けるも、円安により増収
- 原材料高騰影響等を価格改善で吸収できず減益

【貸借対照表】

- 発注調整等により在庫削減を実施しているものの、円安により増加
- 円安による為替換算調整勘定の増加に伴い自己資本比率が向上

【CF計算書】

- 運転資本の増加によりフリーキャッシュフローは増加

連結	前年同期	当期実績	増減
売上高	1,369	1,530	161
営業利益	34	4	▲30
経常利益	34	19	▲15
当期利益	3	▲9	▲12

連結	前期末	当期実績	増減
現預金	745	777	32
棚卸資産	629	659	29
有利子負債	1,796	1,796	0
純資産	882	1,008	126
総資産	3,427	3,605	178
自己資本比率	19.8%	22.0%	2.2%
NET D/ELシオ	1.5	1.3	▲0.3

連結	前年同期	当期実績	増減
営業CF	34	75	40
減価償却費	82	84	2
投資CF	▲28	▲41	▲13
設備投資	▲47	▲40	6
FCF	5	33	27

I. 2023年3月期 第2四半期決算

II. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 2023年3月期 通期業績予想の修正

IV. 事業トピックス

- EV化によるミツバ商品への影響と変化

V. Appendix

I . 2023年3月期 第2四半期決算(連結業績)

上海ロックダウンによる自動車メーカーの大幅減産影響を受けるも、円安により増収。
原材料高騰影響を価格改善で吸収できず減益。

(単位:億円)

	22年3月期 2Q	23年3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,369	1,530	161	11.8%
営業利益	34	4	▲ 30	▲ 87.8%
営業利益率	2.5%	0.3%	—	▲ 2.2pt
経常利益	34	19	▲ 15	▲ 43.3%
税引前利益	36	18	▲ 18	▲ 49.6%
当期利益(※)	3	▲ 9	▲ 12	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)

4~9月平均為替レート (単位:円)

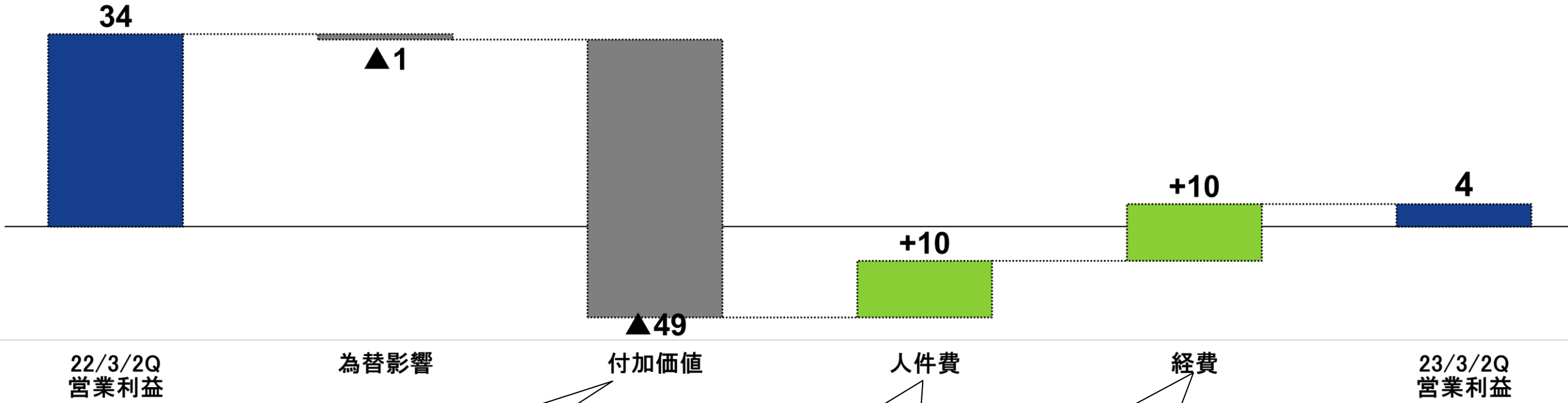
通貨	22/3月期	23/3月期
USD	109.81	134.04
EUR	130.91	138.82
CNY	16.99	19.88

営業外収支	■ 営業外収益 30
内訳	■ 営業外費用 ▲15
経常利益以下	■ 特別損益 ▲1
内訳	■ 法人税等 ▲19
	■ 非支配株主に帰属する当期純利益 ▲8

I . 2023年3月期 第2四半期決算(営業利益増減要因)

営業利益増減要因 (前年同期比)

(単位:億円)



顧客の減産影響	▲9億円	人員減少等	+10億円	減価償却費の減少	+6億円
価格改善	+23億円			生産変動費の減少	+4億円
原材料市況高騰	▲14億円			物流費の増加	▲5億円
その他の材料費増加	▲37億円			その他	+5億円
未実現利益	▲12億円				

I . 2023年3月期 第2四半期決算(セグメント別業績)

(単位:億円)

	22年3月期 2Q			23年3月期 2Q			営業利益 増減額 (A-B)	営業利益 増減率 (A/B)
	売上高	営業利益 (B)	営業 利益率	売上高	営業利益 (A)	営業 利益率		
輸送用機器関連事業	1,271	26	2.1%	1,435	▲4	▲0.3%	▲30	—
情報サービス事業	69	5	7.5%	68	5	8.6%	0	13.6%
その他事業	28	3	10.8%	25	2	9.0%	▲0	▲25.6%
調整額	—	0	—	—	0	—	0	—
合計	1,369	34	2.5%	1,530	4	0.3%	▲30	▲87.8%

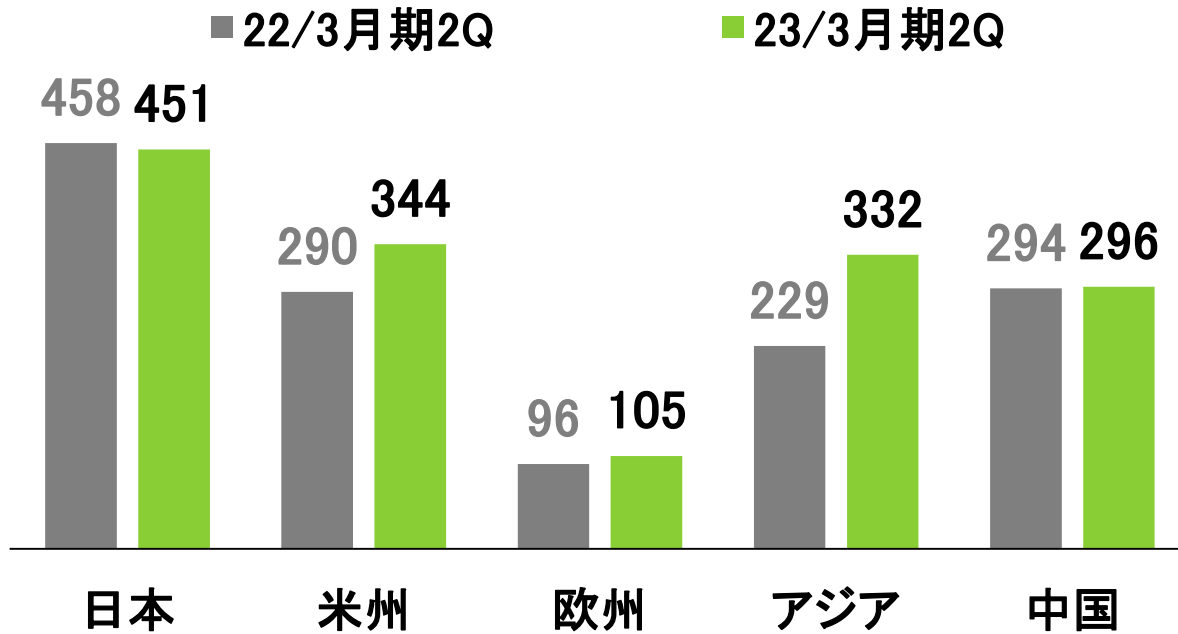
輸送用機器関連事業	<ul style="list-style-type: none"> 円安により増収となるも、原材料高騰影響等を価格改善で吸収できず減益
情報サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 公共事業及び社会・産業セグメントのソフトウェア開発、システム販売が堅調に推移したことで前年同期並みを維持
その他事業	<ul style="list-style-type: none"> アフター市場向け二輪用品の品薄や欠品等により減収・減益

I . 2023年3月期 第2四半期決算(エリア別業績)

日本エリアは、材料費高騰影響などを価格改善で吸収できず減益。
中国エリアは、上海ロックダウンの影響で減益。

【エリア別売上高】

(単位:億円)

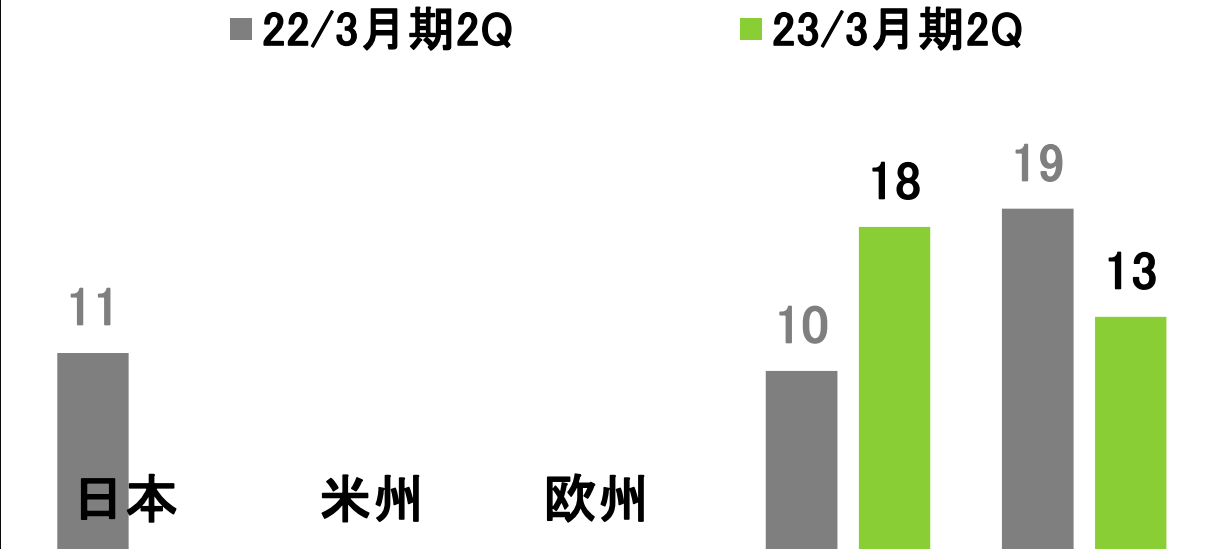


(前年同期比 増減率)

▲1.5% 18.6% 9.5% 44.8% 0.6%

【エリア別営業利益】

(単位:億円)



(前年同期比 増減率)

— — — 75.8% ▲33.1%

I . 2023年3月期 第2四半期決算(顧客別売上高)

(単位:億円)

	22年3月期 2Q		23年3月期 2Q		累計 増減額	累計 増減率
	累計売上高	構成比	累計売上高	構成比		
ホンダ	554	42.5%	606	40.5%	+53	+9.4%
四輪	345	26.5%	310	20.7%	▲35	▲10.1%
二輪	208	16.0%	296	19.8%	+88	+42.3%
RNM	95	7.3%	104	7.0%	+9	+9.5%
SUBARU	61	4.7%	44	2.9%	▲17	▲27.9%
スズキ	32	2.4%	42	2.8%	+10	+31.3%
マツダ	23	1.8%	29	1.9%	+6	+26.1%
VW グループ	22	1.7%	35	2.3%	+13	+59.1%
トヨタ グループ	18	1.3%	13	0.9%	▲5	▲27.8%
Tier1	374	28.7%	420	28.0%	+46	+12.3%
その他	125	9.6%	205	13.7%	+80	+64.0%
合計	1,303		1,498		+195	+15.0%

※RNM:ルノー、日産自動車、三菱自動車

※顧客別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません。

I . 2023年3月期 第2四半期決算(事業別売上高)

(単位:億円)

	22年3月期 2Q		23年3月期 2Q		累計 増減額	累計 増減率
	累計売上高	構成比	累計売上高	構成比		
四輪	833	63.9%	931	62.1%	+98	+11.8%
視界系	427	32.8%	479	31.9%	+52	+12.2%
利便快適系	406	31.1%	452	30.2%	+46	+11.3%
二輪	287	22.0%	387	25.8%	+100	+34.8%
電動化ソリューション	184	14.1%	181	12.1%	▲3	▲1.6%
合計	1,303		1,498		+195	+15.0%

※事業別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致しておりません。

I . 2023年3月期 第2四半期決算(連結貸借対照表)

		22年 3月末	22年 9月末	増減			22年 3月末	22年 9月末	増減
流動資産	現預金	745	777	32	負債	仕入債務	253	287	33
	売掛債権	509	599	89		その他	495	513	18
	棚卸資産	629	659	29		有利子負債(※)	1,796	1,796	0
	その他	183	186	3			2,545	2,597	51
流動資産		2,067	2,221	154	株主資本	650	630	▲ 19	
固定資産	有形固定資産	993	1,007	13	包括利益累計	29	163	133	
	無形固定資産	34	40	6	自己資本合計	680	794	114	
	その他	332	335	3	非支配株主持分	201	214	12	
	固定資産	1,360	1,383	23	総資産合計	882	1,008	126	
資産合計		3,427	3,605	178	負債・純資産合計	3,427	3,605	178	

月末為替レート

(単位:円)

通貨	22年3月末	22年9月末
USD	122.42	144.81
EUR	136.74	142.39
CNY	19.22	20.34

(※) 借入金+社債(リースは含まない)

指標	22年3月末	22年9月末
自己資本比率	19.8%	22.0%
ネットD/Eレシオ	1.5	1.3

I . 2023年3月期 第2四半期決算(連結キャッシュフロー)

(単位:億円)

		22年3月期 2Q	23年3月期 2Q	増減
営業活動 CF	税引前当期純利益	36	18	▲ 18
	減価償却費	82	84	2
	売上債権の増減(▲は増加)	93	▲ 21	▲ 115
	棚卸資産の増減(▲は増加)	▲ 100	30	131
	仕入債務の増減(▲は減少)	▲ 43	▲ 25	17
	その他	▲ 33	▲ 10	23
	合計	34	75	40
投資活動 CF	固定資産取得による支出	▲ 47	▲ 40	6
	その他	18	▲ 1	▲ 19
	合計	▲ 28	▲ 41	▲ 13
フリーキャッシュフロー		5	33	27
財務活動 CF	借入金の増減(▲は減少)	▲ 23	▲ 23	▲ 0
	その他	▲ 17	▲ 18	▲ 1
	合計	▲ 40	▲ 42	▲ 1
為替換算等		5	41	35
現金・現金同等物増減(▲は減少)		▲ 29	32	62

I. 2023年3月期 第2四半期決算

II. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 2023年3月期 通期業績予想の修正

IV. 事業トピックス

- EV化によるミツバ商品への影響と変化

V. Appendix

Ⅱ. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

円安により増収となったものの、上海ロックダウンの影響により売上高及び営業利益は共に未達。一方、経常利益は為替差益による上振れ効果はあったものの、法人税等の負担増により当期利益は上期予想と同水準にて着地。

(単位:億円)

	上期予想	23年3月期 2Q	増減額	増減率
売上高	1,550	1,530	▲19	▲1.3%
営業利益	20	4	▲15	▲78.7%
営業利益率	1.3%	0.3%	—	▲1.0pt
経常利益	12	19	7	64.8%
当期利益(※)	▲10	▲9	0	—

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

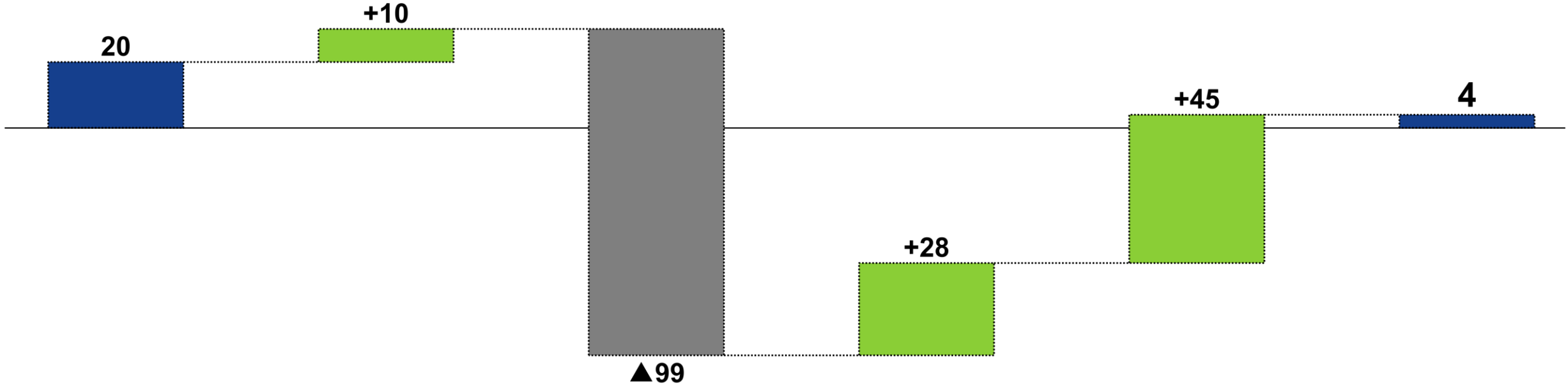
為替レート (単位:円)

通貨	予想	23/3月期
USD	120.00	134.04
EUR	135.00	138.82
CNY	18.00	19.88

Ⅱ. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

営業利益増減要因（上期予想vs上期実績）

（単位：億円）



23/3/2Q予想
営業利益

為替影響

付加価値

人件費

経費

23/3/2Q
営業利益

顧客の減産影響	▲43億円
価格改善	+14億円
原材料市況高騰	▲41億円
その他材料費増加	▲19億円
未実現利益	▲10億円

人員減少等	+24億円
その他	+4億円

生産変動費の減少	+13億円
減価償却費の減少	+10億円
物流費の減少	+2億円
その他	+20億円

I. 2023年3月期 第2四半期決算

II. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 2023年3月期 通期業績予想の修正

IV. 事業トピックス

- EV化によるミツバ商品への影響と変化

V. Appendix

Ⅲ. 2023年3月期 通期業績予想の修正

第2四半期連結累計期間での減収減益に加え、10月以降も半導体供給不足による自動車メーカーの減産傾向や材料費の上昇、物流費の高止まりが継続見込みであることから下方修正を実施。

(単位:億円)

	期初予想	修正予想	増減額	増減率
売上高	3,300	3,200	▲100	▲3.0%
営業利益	110	100	▲10	▲9.1%
営業利益率	3.3%	3.1%	-	▲0.2pt
経常利益	96	100	4	4.2%
当期利益(※)	40	30	▲10	▲25.0%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)

為替レート (単位:円)

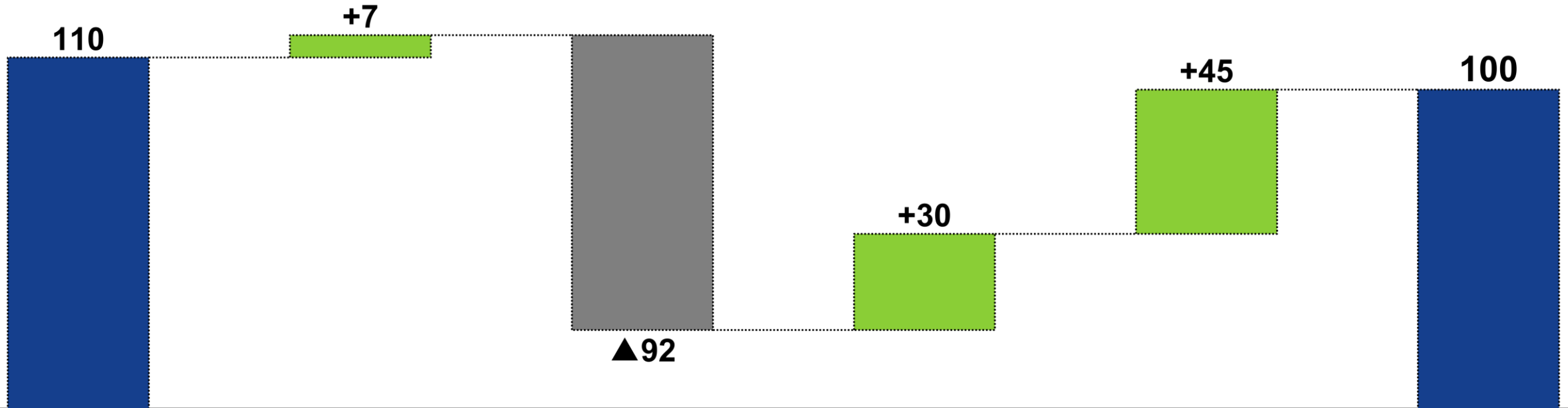
通貨	期初予想	修正予想
USD	120.00	変更なし
EUR	135.00	
CNY	18.00	

通貨	為替感応度	
	売上	営業利益
USD	5	1
EUR	1.5	0.5
CNY	33	11

Ⅲ. 2023年3月期 通期業績予想の修正

営業利益増減要因 (期初予想 vs 修正予想)

(単位: 億円)



期初予想
営業利益

為替影響

付加価値

人件費

経費

修正予想
営業利益

顧客の減産影響	▲68億円
価格改善	+29億円
原材料市況高騰	▲10億円
その他の材料費増加	▲33億円
未実現利益	▲10億円

人員減少等	+27億円
その他	+3億円

減価償却費の減少	+11億円
生産変動費の減少	+12億円
物流費の減少	+24億円
その他	▲2億円

I. 2023年3月期 第2四半期決算

II. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 2023年3月期 通期業績予想の修正

IV. 事業トピックス

- **EV化によるミツバ商品への影響と変化**

V. Appendix

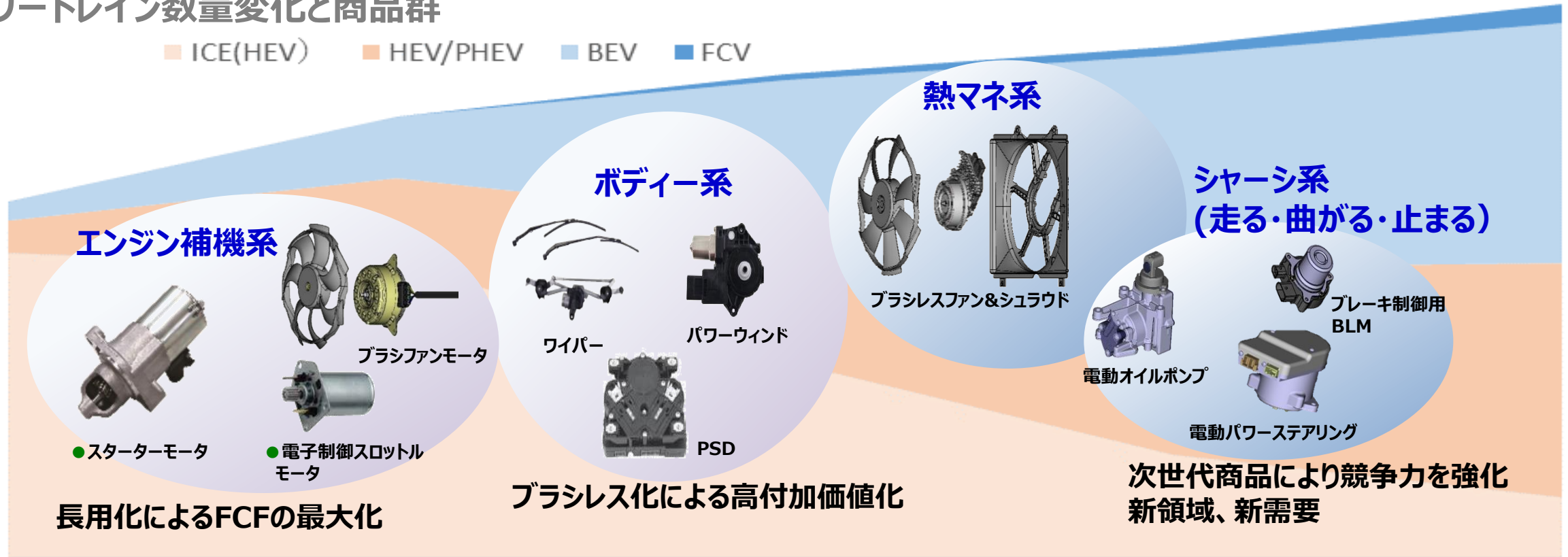
IV. 事業トピックス (EV化によるミツバ商品への影響と変化)

4輪領域

✓ 急速に進む電動化をチャンスと捉え、これにマッチした商品シフトにより売上拡大を目指します。

パワートレイン数量変化と商品群

ICE(HEV) HEV/PHEV BEV FCV



2020年

2025年

2030年

2035年

2040年

Level2,3

Level4

IV. 事業トピックス (EV化によるミツバ商品への影響と変化)

4輪領域 ポートフォリオの変化

✓ 熱マネ系、シャーシ系(走る・曲がる・止まる) 商品へのシフトにより、エンジン補機系商品の減少をカバーし、更なる成長を目指します。

類別	商品群	売上 (億円)		主な新商品 (開発中を含む)
		FY2021	FY2030	
エンジン補機系商品	スターター	200	↓	
	スロットルコントロール			
	排気バルブ			
ボディー系商品	ワイパー	1,200	→	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラシレス制御ワイパー (第2世代) ・機電一体パワーウインド ・ライドシェア用PSD
	パワーウインド・サンルーフ			
	パワースライドドア			
熱マネ系商品	ファン&シュラウド	150	↗	・ブラシレスファン (第2世代)
シャーシ系商品 (走る/曲がる/止まる)	電動オイルポンプ	130	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・電動オイルポンプ (第2世代) ・機電一体EPS ・ブレーキ制御用BLM
	EPS			
	ブレーキ			

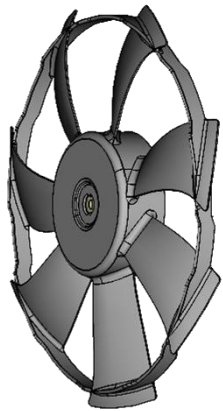
IV. 事業トピックス (EV化によるミツバ商品への影響と変化)

熱マネ系商品紹介

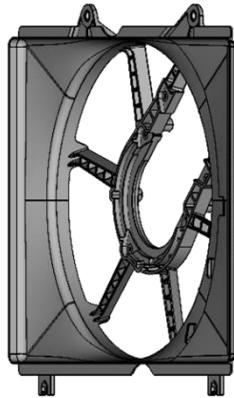
- ✓ EV化によりバッテリー、PDU、モータの車両全体の熱マネシステムが必要となり、ブラシレスファン、電動オイルポンプ、電動ウォータポンプ、ヒータ、流路切替バルブ等の電装部品のニーズが拡大。

xEV用ブラシレスファン & シュラウド

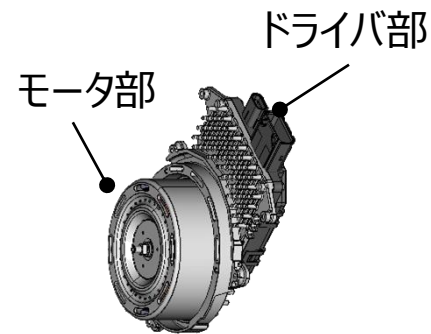
- ◆ 軽自動車から大型SUVまで対応可能なバリエーション設定
- ◆ 世界最小の小型・軽量モデル (自社調査)
- ◆ シュラウドとファンによる冷却性能、風切り音の最適化を実現



静音ファン



シュラウド

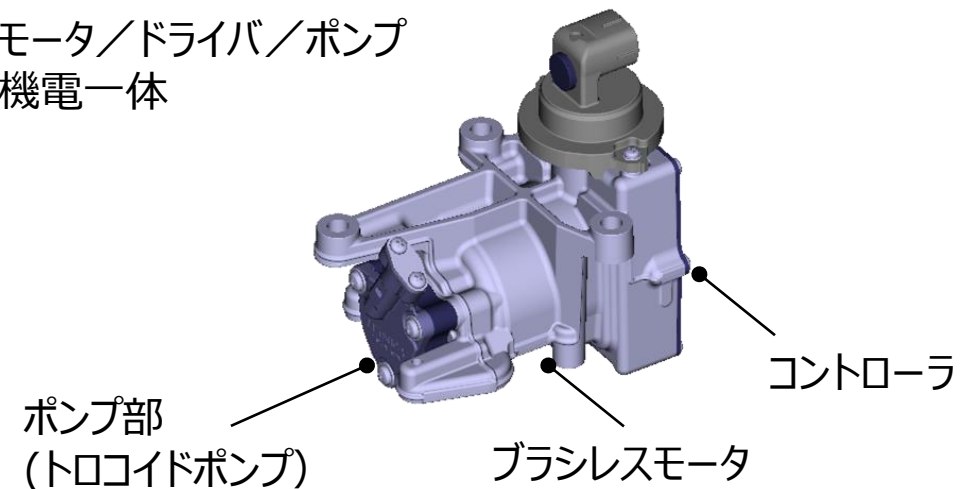


ブラシレスファンモータ

xEV用電動オイルポンプ

- ◆ 油温-40~140℃で安定した油圧供給が可能
- ◆ 冷却や油圧駆動用途に最適な80~200Wに対応
- ◆ トランスミッション内 (油中) に搭載可能

モータ/ドライバ/ポンプ
機電一体

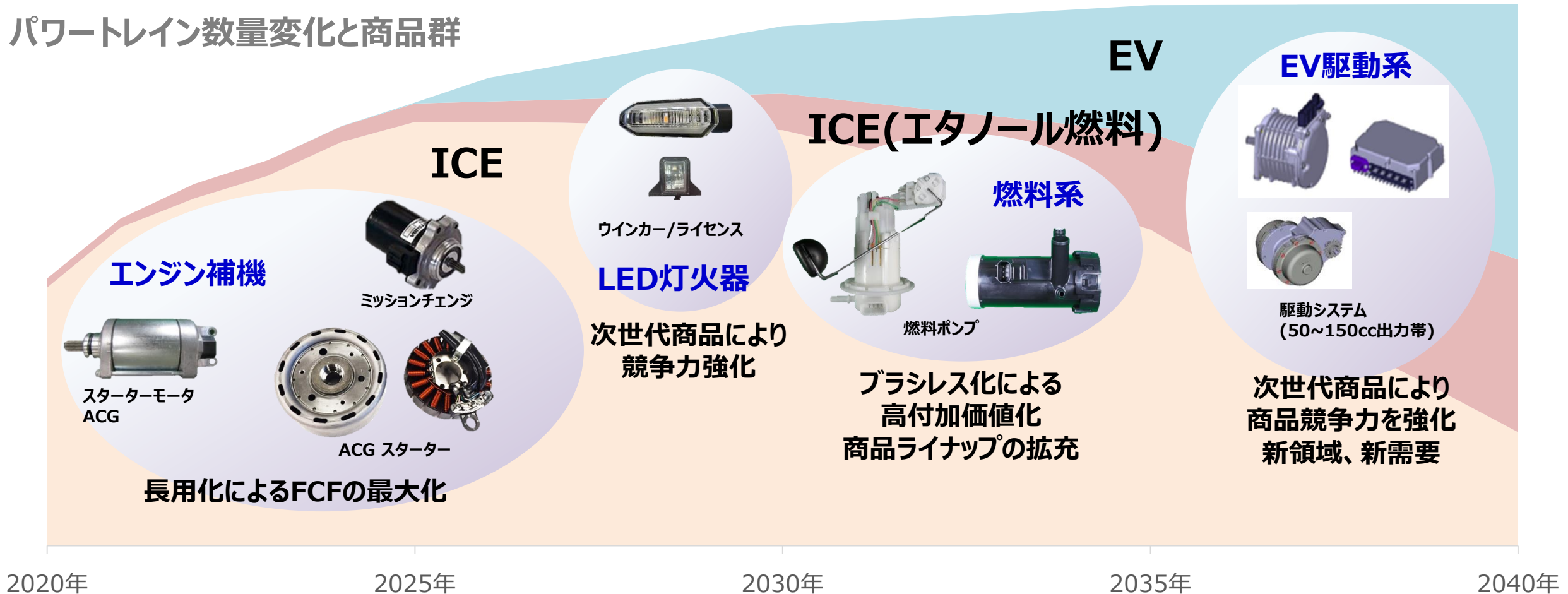


IV. 事業トピックス (EV化によるミツバ商品への影響と変化)

2輪領域

- ✓ 二輪EVの拡大に向け、オリジナル駆動システムの開発を推進します。
- ✓ バイオエタノールの拡大に対応したフレックス燃料用ブラシレスポンプの開発も推進します。

パワートレイン数量変化と商品群



IV. 事業トピックス (EV化によるミツバ商品への影響と変化)

2輪領域 ポートフォリオの変化

- ✓ 環境対応商品として、FI化対応の燃料ポンプ、ACGスターターのシェア拡大を目指します。
- ✓ 2030年以降のエンジン補機系商品の減少を、オリジナル駆動システムの販売およびモータの委託生産や部品供給も含めた柔軟な対応で売上拡大を目指します。

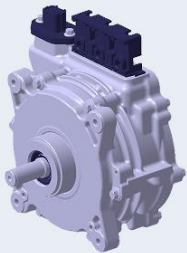
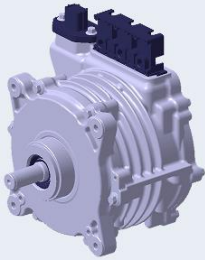

類別	商品群	売上 (億円)		主な新商品 (開発中を含む)
		FY2021	FY2030	
エンジン補機系商品	スターター	120	→	<ul style="list-style-type: none"> ・環境対応デバイス追加及び高付加価値に対応した高出力化 ・フレックス燃料用機電一体 ブラシレスポンプ
	ACジェネレーター	100	→	
	ACGスターター	170	↗	
	燃料ポンプ	140	↗	
LED灯火器系商品 ミッション関連商品	ウインカーランプ・リレー	70	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・導光,シーケンシャル技術導入
	ミッションチェンジ、ベルコン モータ	5	→	
EV駆動系商品	駆動システム(モータ、コントローラ)	0	↗	<ul style="list-style-type: none"> ・インナ/アウト ロータタイプ

IV. 事業トピックス (EV化によるミツバ商品への影響と変化)

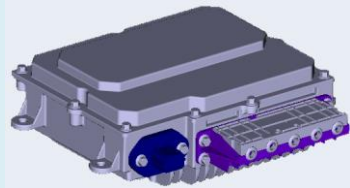
2輪EVシステム商品紹介

- ✓ 最適な磁気回路/放熱設計と制御技術による自然空冷の廉価システムで、出力違いとなる3バリエーションの開発を進めています。
- ✓ 小型・軽量による低電費化により、長航続距離を実現します。

駆動モータ

タイプ	ショート仕様	ミドル仕様	ロング仕様
相当エンジンクラス	50cc	100 ~ 125cc	125cc超
外観			
最高出力	2kW @48V	5kW @48V	8kW @96V
最大トルク	7.5Nm	20Nm	23Nm
冷却方式	空冷		

コントローラ

タイプ	48V仕様
外観	
電流	最大線電流 210Arms
入力信号	CAN / アナログ
冷却方式	空冷

I. 2023年3月期 第2四半期決算

II. 2023年3月期 上期業績予想と実績との差異

III. 2023年3月期 通期業績予想の修正

IV. 事業トピックス

- EV化によるミツバ製品への影響と変化

V. Appendix

V. Appendix 2023年3月期第2四半期決算(エリア別業績推移)

(単位:億円)

	22年3月期 2Q				23年3月期 2Q				前年同四半期 対比増減率 (C/A)	第1四半期 対比増減率 (C/B)
	1Q	2Q (A)	3Q	4Q	1Q (B)	2Q (C)	3Q	4Q		
売上高 計	697	671	720	775	668	862			+23.6%	+29.1%
日本	224	234	240	251	206	245			+4.8%	+19.0%
米州	152	138	140	162	157	187			+35.6%	+19.2%
欧州	53	42	43	52	52	52			+23.8%	+0.6%
アジア	106	123	129	146	144	188			+52.6%	+30.7%
中国	161	133	166	162	108	188			+41.4%	+74.3%
営業利益 計	30	4	0	36	▲19	23			+396.8%	—
日本	10	0	▲9	15	▲16	3			+304.0%	—
米州	▲2	▲4	▲0	5	▲0	▲5			—	—
欧州	▲3	▲2	▲2	▲0	▲1	▲0			—	—
アジア	7	2	3	▲1	3	15			+429.9%	+341.6%
中国	13	6	5	11	▲2	15			+162.5%	—

※エリア別の営業利益は、セグメント間取引調整前の金額です。

V. Appendix 2023年3月期第2四半期決算(顧客別売上高推移)

(単位:億円)

	22年3月期				23年3月期				前年同四半期 対比増減率 (C/A)	第2四半期 対比増減率 (C/B)
	1Q	2Q(A)	3Q	4Q	1Q(B)	2Q(C)	3Q	4Q		
ホンダ	276	278	307	322	252	354			+27.3%	+40.5%
四輪	174	171	180	180	126	184			+7.6%	+46.0%
二輪	102	106	127	142	126	170			+60.4%	+34.9%
RNM	46	49	59	55	46	58			+18.4%	+26.1%
SUBARU	32	29	37	34	20	24			▲17.2%	+20.0%
スズキ	15	17	18	20	21	21			+23.5%	+0.0%
マツダ	12	11	13	16	12	17			+54.5%	+41.7%
VW グループ	12	10	10	12	16	19			+90.0%	+18.8%
トヨタ グループ	9	9	11	11	6	7			▲22.2%	+16.7%
Tier1	198	176	182	199	185	235			+33.5%	+27.0%
その他	77	48	60	66	90	115			+139.6%	+27.8%
合計	677	626	696	735	648	850			+35.8%	+31.2%

※RNM:ルノー、日産自動車、三菱自動車

※顧客別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致しておりません。

V. Appendix 2023年3月期第2四半期決算(事業別売上高推移)

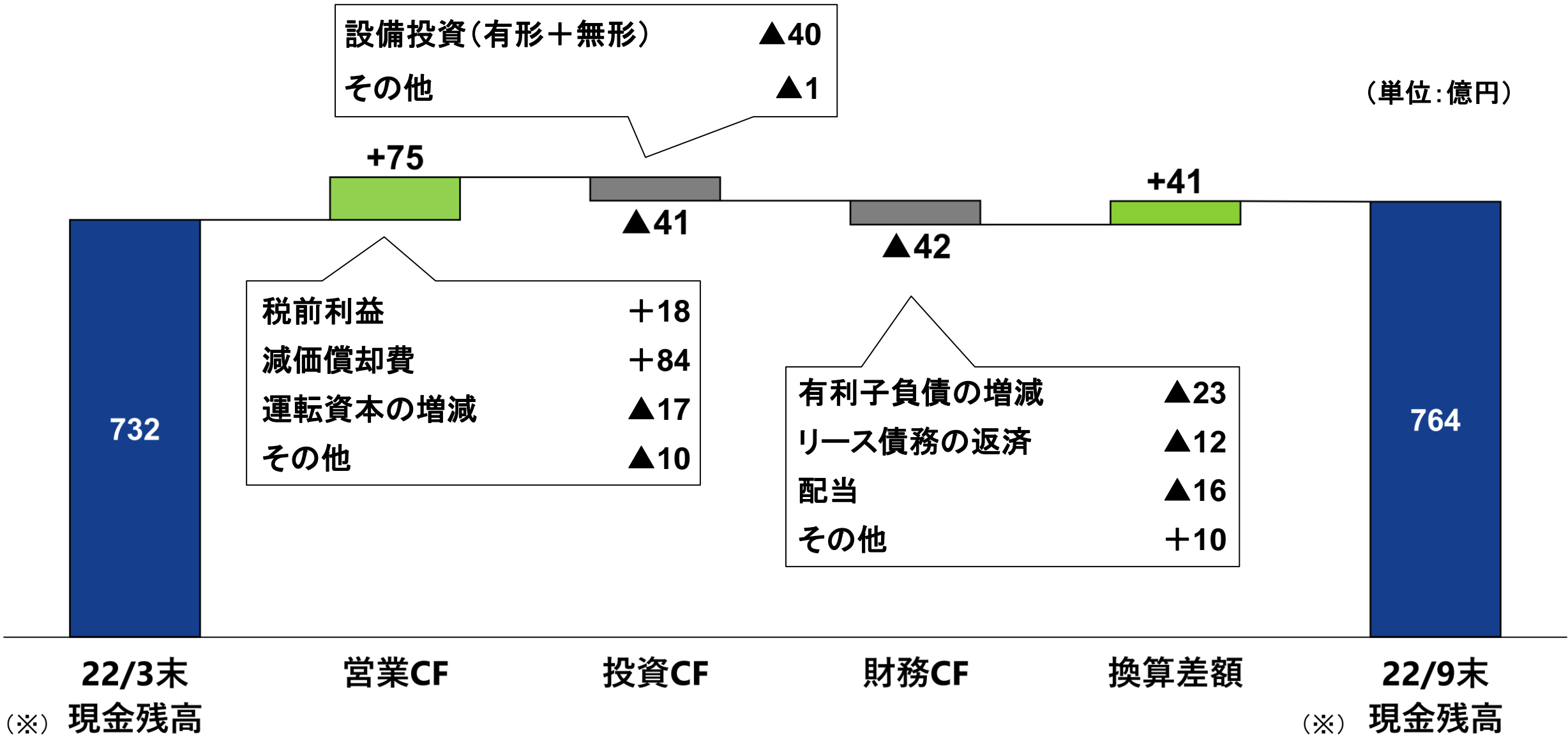
(単位:億円)

	22年3月期				23年3月期				前年同 四半期 対比増減率 (C/A)	第4四半期 対比増減率 (C/B)
	1Q	2Q (A)	3Q	4Q	1Q (B)	2Q (C)	3Q	4Q		
四輪	441	391	440	455	401	530			+35.5%	+32.2%
二輪	138	149	159	179	168	218			+46.3%	+29.8%
電動化ソリューション	98	86	97	101	78	102			+18.6%	+30.8%
合計	677	626	696	735	648	850			+35.8%	+31.3%

※事業別売上高は輸送用機器関連事業にかかる社内管理数値のため、連結上のセグメント数値とは一致していません。

V. Appendix 2023年3月期第2四半期決算(連結キャッシュフロー)

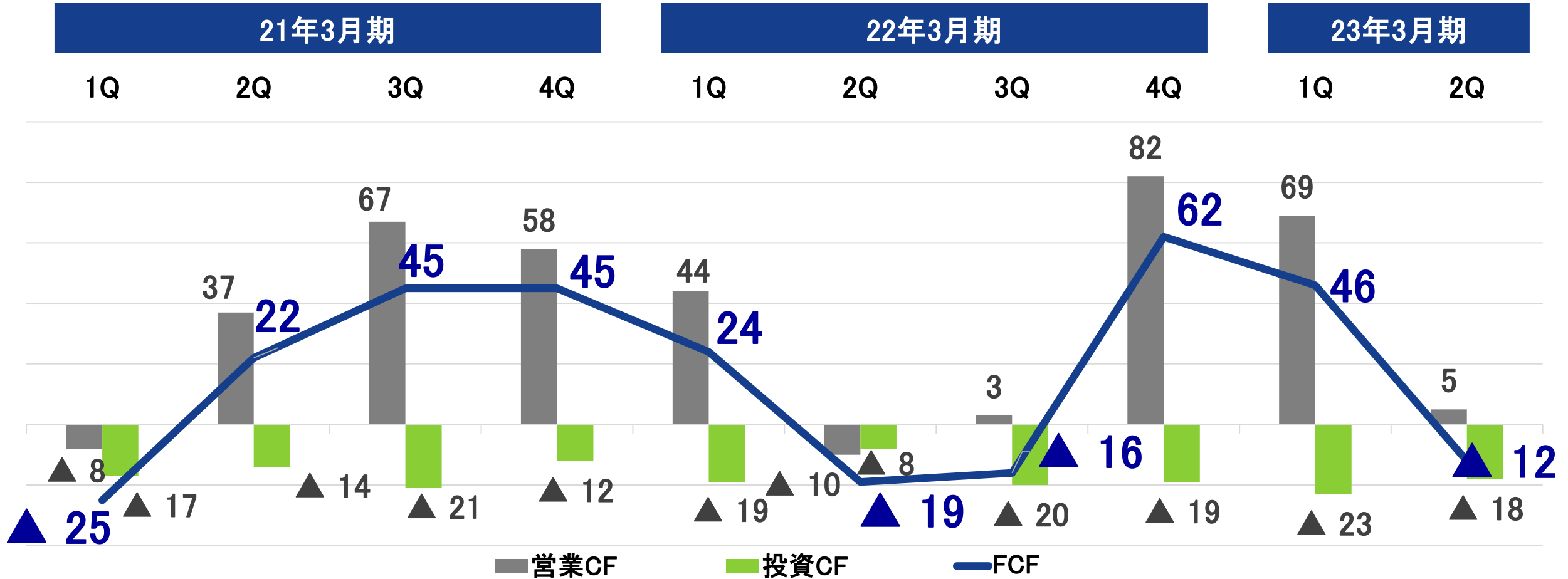
(単位:億円)



(※)現金及び現金同等物

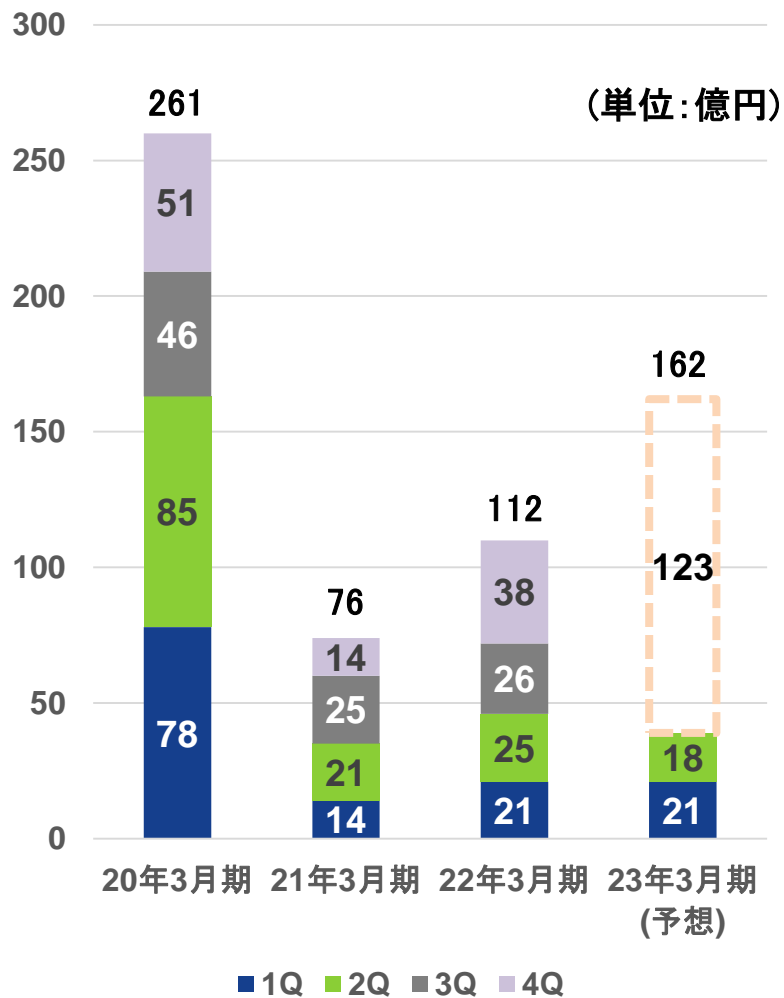
V. Appendix 2023年3月期第2四半期決算(連結キャッシュフロー)

(単位:億円)

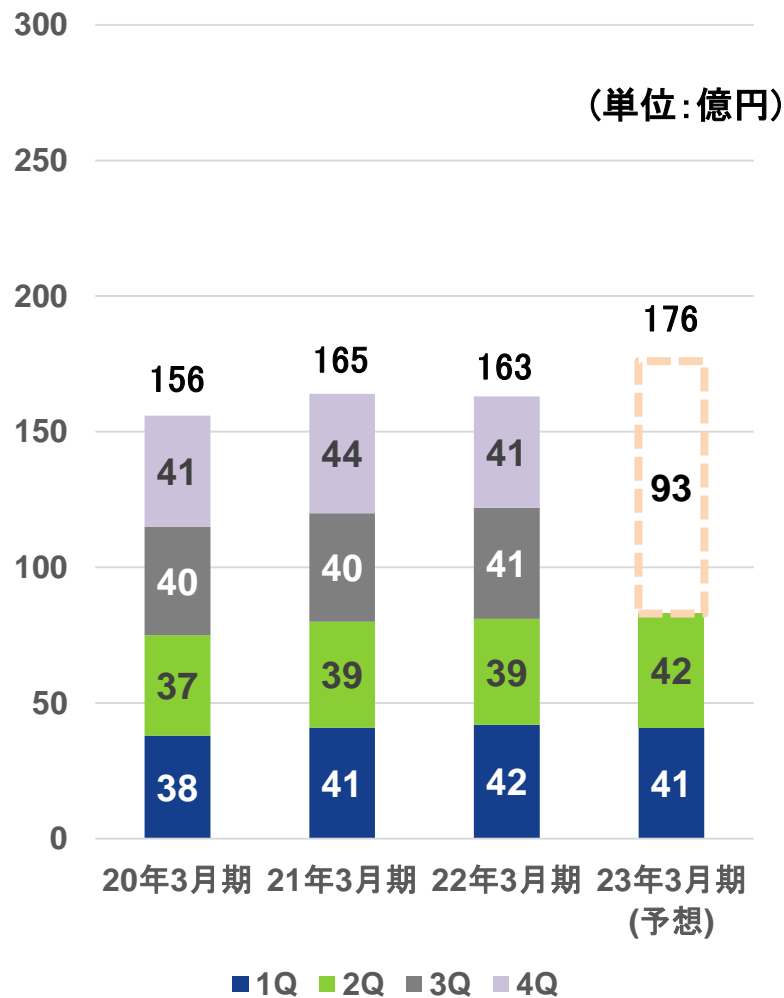


V. Appendix 2023年3月期(設備投資、減価償却費、研究開発費)

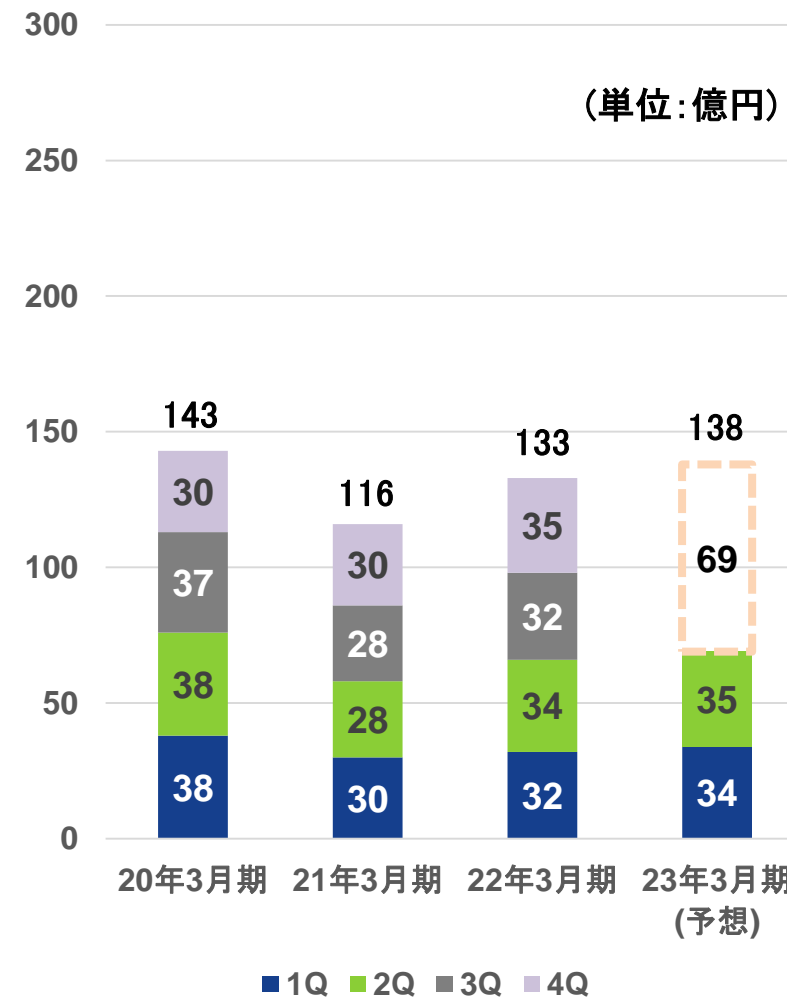
設備投資



減価償却費

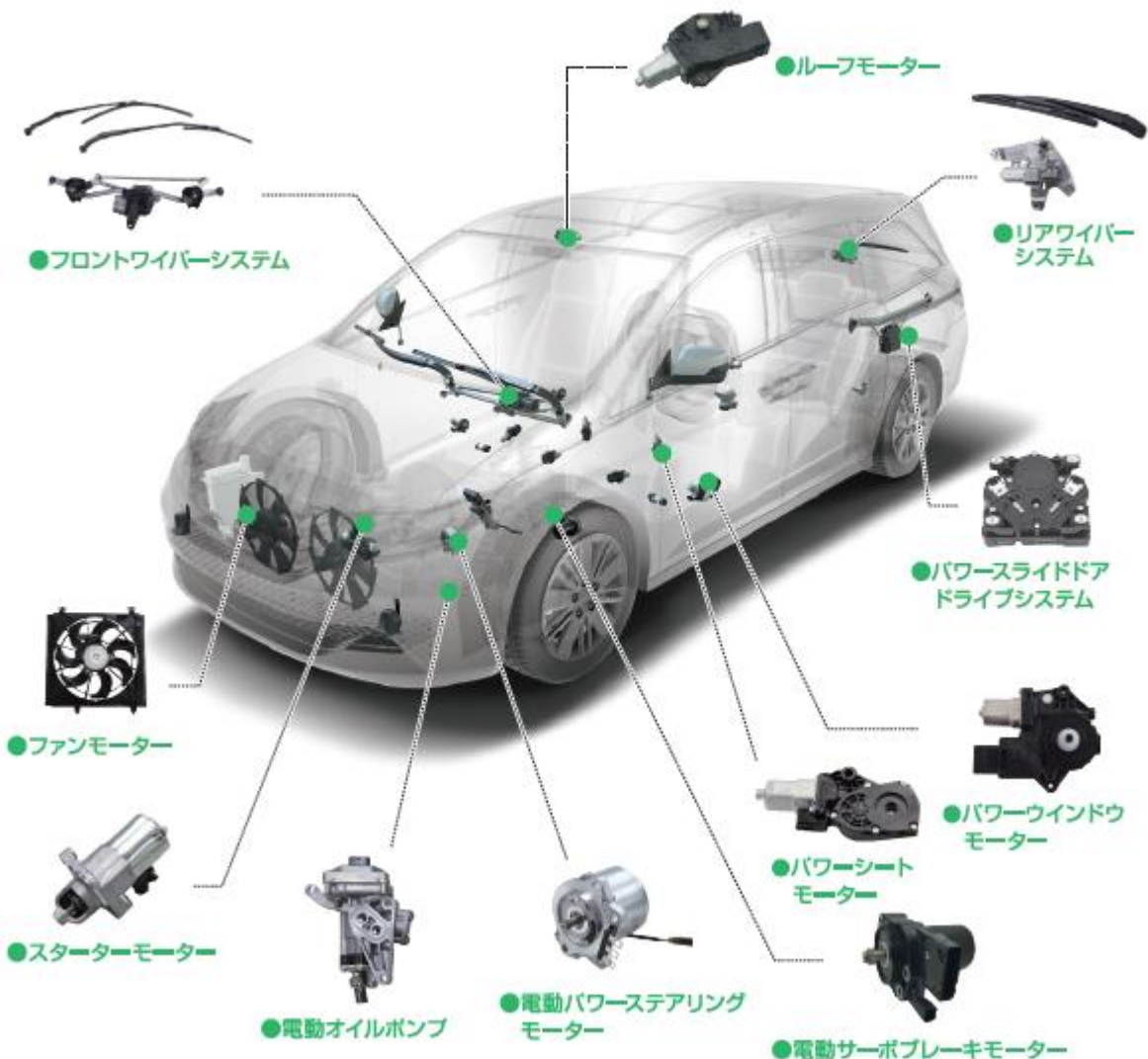


研究開発費



V. Appendix 製品紹介

四輪電装製品



二輪電装製品



小型モビリティ製品



V. Appendix バーチャル製品展示特設サイトのご紹介

[バーチャル製品展示ページ | 株式会社ミツバ \(https://www.mitsuba.co.jp/vpep/\)](https://www.mitsuba.co.jp/vpep/)



ご注意

本資料には、当社グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。

そのため、今後、経済情勢や景気動向、法令規制の変化その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と異なる可能性があることにご留意ください。

本資料は、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。



~ End of Presentation ~